

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年8月13日

**【四半期会計期間】** 第45期第2四半期(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

**【会社名】** 高橋カーテンウォール工業株式会社

**【英訳名】** TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 高橋 武治

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

**【電話番号】** (03)3271 1711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 影山 信博

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

**【電話番号】** (03)3271 1711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 影山 信博

**【縦覧に供する場所】** 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店  
(大阪府大阪市西区靱本町1丁目11番7号)  
株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第45期 第2四半期 連結累計期間	第45期 第2四半期 連結会計期間	第44期
会計期間		自 平成21年1月 1日 至 平成21年6月30日	自 平成21年4月 1日 至 平成21年6月30日	自 平成20年 1月 1日 至 平成20年12月31日
売上高	(千円)	6,820,551	4,116,188	12,475,273
経常利益	(千円)	88,784	126,599	273,733
四半期(当期)純利益	(千円)	63,269	106,063	151,651
純資産額	(千円)		6,275,879	6,261,880
総資産額	(千円)		15,579,883	17,003,085
1株当たり純資産額	(円)		716.23	714.22
1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	7.22	12.10	17.29
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		40.3	36.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,294,565		1,747,710
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	190,464		984,748
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	365,858		161,595
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		602,326	1,720,871
従業員数	(名)		202	189

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第44期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 第45期第2四半期連結累計期間及び第45期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については「3 関係会社の状況」に記載のとおりであります。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間における、重要な関係会社の異動は以下のとおりです。

除外

（株）スパジオデュエ（連結子会社）は、平成21年6月2日に特別清算終了により関係会社に該当しなくなりました。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(名)	202
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員数であります。

### (2) 提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(名)	162
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員数であります。

## 第2 【事業の状況】

「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 受注実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) (千円)
建設事業	1,719,601

#### (2) 売上実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) (千円)
建設事業	4,116,188

(注) 1 当社企業グループでは、生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

2 売上高総額に対する割合が100分の10以上の相手先別の売上高及びその割合は、次のとおりであります。

#### 当第2四半期連結会計期間

大和システム㈱	1,540,137千円	37.4%
㈱内外テクノス	432,573千円	10.5%

(参考) 提出会社単独の事業の状況は次のとおりであります。

#### (1) 受注工事高・完成工事高・繰越工事高及び施工高

期別	工事別	期首繰越 工事高 (千円)	期中受注 工事高 (千円)	計 (千円)	期中完成 工事高 (千円)	期末繰越 工事高 (千円)
当第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	建築 (PCカーテン ウォール等)	8,969,669	3,181,826	12,151,495	2,964,340	9,187,155
前事業年度 (自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)	建築 (PCカーテン ウォール等)	8,313,980	7,187,659	15,501,639	6,531,970	8,969,669

(注) 1 前事業年度以前に受注した工事で、契約の更改により請負金額に変更あるものについては、期中受注工事高にその増減額を含みます。したがって期中完成工事高にもかかる増減額が含まれます。

2 当社の受注は、100%建築工事で国内受注であります。

3 当社の受注は、100%民間企業からの受注であります。

4 完成工事高総額に対する割合が100分の10以上の相手先別の完成工事高及びその割合は、次のとおりであります。

#### 当第2四半期累計期間

㈱内外テクノス	474,573千円	16.0%
大成建設㈱	465,800千円	15.7%
㈱大林組	424,689千円	14.3%
㈱エスシー・プレコン	326,850千円	11.0%

#### 前事業年度

鹿島建設㈱	936,112千円	14.3%
㈱大林組	878,470千円	13.4%
大成建設㈱	872,724千円	13.4%
㈱竹中工務店	667,481千円	10.2%

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

## 4 【財政状態及び経営成績の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間における我が国経済は、世界規模の金融・経済危機の影響を受けて景気が後退するなか、国内主要産業による大幅な減産や在庫圧縮により一部に持ち直しの動きがみられるものの、引き続き設備投資は抑制され、雇用情勢の悪化から個人消費も低迷しており厳しい状況が続いております。

当建設業界におきましては、本業のPCカーテンウォール事業では、不動産市況の悪化から建設需要が縮小し競争が激化するなかで、アーキテクチュラルコンクリートカーテンウォール等他社との差別化製品の営業展開により、受注拡大を図っております。

タカハシテクノの建築事業では、不動産有効活用の提案営業により売上高を大幅に伸ばしております。また、システム収納家具事業では、住宅需要の低迷から引き続き厳しい状況にありますが、新商品開発・得意先拡充等により受注確保すべく営業を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は41億16百万円、営業利益1億2百万円、経常利益1億26百万円、四半期純利益1億6百万円となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は155億79百万円と前連結会計年度末と比較して14億23百万円の減少となりました。これは主に現金預金が11億18百万円減少したことによるものであります。

#### 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は93億4百万円と前連結会計年度末と比較して14億37百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が14億72百万円減少したことによるものであります。

#### 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は62億75百万円と前連結会計年度末と比較して13百万円の増加となりました。これは利益剰余金が、配当金の支払及び四半期純利益の計上により24百万円減少し、その他有価証券評価差額金が39百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フロー - の状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第1四半期連結会計期間末と比較して13億58百万円減少して6億2百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に未成工事支出金の減少額17億66百万円と仕入債務の減少額8億16百万円及び未成工事受入金の減少額13億89百万円により6億42百万円の資金減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出1億72百万円により1億48百万円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純減少額3億64百万円及び社債の償還による支出1億30百万円により5億66百万円の資金減少となりました。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

「第3 設備の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

#### (1) 主要な設備の状況

第1四半期連結会計期間末に計画していた設備計画のうち、第2四半期連結会計期間に完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類別 セグメントの 名称	設備の内容	投資総額(千円)	資金調達方法	完了 年月
提出会社	滋賀工場 (滋賀県甲賀市 信楽町)	建設事業	社員寮新設 工事	48,000	自己資金	平成21年 5月

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画していた重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	株ジャスダック 証券取引所	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年6月30日		9,553,011		4,542,968		1,135,742



## (5) 【大株主の状況】

平成21年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(有)ティーケー興産	東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号	2,662	27.86
高橋 武 治	東京都品川区	815	8.53
高橋 敏 男	東京都港区	663	6.94
和 泉 孝 雄	大阪府枚方市	350	3.66
高橋 雅 代	東京都世田谷区	235	2.46
エスアイエツクス エスアイエス エルティーデー (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	BASLERSTRASSE 100,CH-4600 OLTEN SWITZERLAND (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	224	2.34
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	207	2.16
藤 田 修 二	千葉県浦安市	152	1.60
岩 崎 陽 子	東京都世田谷区	142	1.49
高橋 幸 子	東京都港区	138	1.44
計		5,590	58.52

(注) 上記のほか当社所有の自己株式790千株(8.27%)があります。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 790,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,686,000	8,686	同上
単元未満株式	普通株式 77,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,686	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式645株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	790,000		790,000	8.26
計		790,000		790,000	8.26

## 2 【株価の推移】

## 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
最高(円)	127	128	131	171	239	238
最低(円)	120	115	120	131	155	204

(注) 最高・最低株価は、(株)ジャスダック証券取引所におけるものであります。

## 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

## 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (大阪支店長)	取締役 (大阪支店長)	上村良治	平成21年4月1日

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	992,326	2,110,871
受取手形・完成工事未収入金等	1,959,197	2,168,974
未成工事支出金	3,865,294	4,197,471
その他のたな卸資産	<sup>1</sup> 199,237	<sup>1</sup> 122,569
その他	224,339	235,283
貸倒引当金	-	4,845
流動資産合計	7,240,396	8,830,326
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	<sup>2, 3</sup> 1,768,853	<sup>2, 3</sup> 1,617,857
土地	<sup>2</sup> 2,634,847	<sup>2</sup> 2,634,847
その他（純額）	<sup>3</sup> 258,799	<sup>3</sup> 259,343
有形固定資産合計	4,662,499	4,512,048
無形固定資産	174,458	175,050
投資その他の資産		
投資有価証券	283,767	272,070
投資不動産（純額）	<sup>3</sup> 846,868	<sup>3</sup> 849,729
保険積立金	988,367	968,551
その他	<sup>4</sup> 1,473,821	<sup>4</sup> 1,484,458
貸倒引当金	90,297	89,150
投資その他の資産合計	3,502,527	3,485,659
固定資産合計	8,339,486	8,172,758
資産合計	15,579,883	17,003,085
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,468,191	2,941,087
短期借入金	1,750,488	2,132,661
1年内償還予定の社債	685,000	590,000
未成工事受入金	1,515,633	1,935,119
引当金	92,393	91,266
その他	244,261	269,054
流動負債合計	5,755,967	7,959,187
固定負債		
社債	2,285,000	1,907,500
長期借入金	602,932	233,339
役員退職慰労引当金	323,906	308,744
引当金	1,914	1,716
その他	334,284	330,716
固定負債合計	3,548,036	2,782,016
負債合計	9,304,004	10,741,204

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,668,856	1,668,856
利益剰余金	306,706	331,110
自己株式	196,361	195,664
株主資本合計	6,322,168	6,347,270
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,289	85,390
評価・換算差額等合計	46,289	85,390
純資産合計	6,275,879	6,261,880
負債純資産合計	15,579,883	17,003,085

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)
完成工事高	6,820,551
完成工事原価	6,223,393
完成工事総利益	597,157
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 483,495
営業利益	113,662
営業外収益	
受取利息	1,656
投資有価証券売却益	8,691
受取賃貸料	27,397
その他	32,623
営業外収益合計	70,368
営業外費用	
支払利息	37,107
社債発行費	22,444
投資有価証券評価損	7,027
その他	28,667
営業外費用合計	95,247
経常利益	88,784
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,698
特別利益合計	3,698
特別損失	
固定資産除却損	874
特別損失合計	874
税金等調整前四半期純利益	91,608
法人税、住民税及び事業税	24,225
法人税等調整額	4,114
法人税等合計	28,339
四半期純利益	63,269

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
完成工事高	4,116,188
完成工事原価	3,784,616
完成工事総利益	331,571
販売費及び一般管理費	1 228,714
営業利益	102,856
営業外収益	
受取利息	575
投資有価証券売却益	4,121
受取賃貸料	13,596
その他	12,198
営業外収益合計	30,491
営業外費用	
支払利息	19,656
社債発行費	-
投資有価証券評価損	28,478
その他	15,570
営業外費用合計	6,748
経常利益	126,599
特別利益	
貸倒引当金戻入額	320
特別利益合計	320
特別損失	
固定資産除却損	696
特別損失合計	696
税金等調整前四半期純利益	126,222
法人税、住民税及び事業税	9,094
法人税等調整額	11,065
法人税等合計	20,159
四半期純利益	106,063

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	91,608
減価償却費	123,323
貸倒引当金の増減額（は減少）	3,698
投資有価証券評価損益（は益）	7,027
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	15,162
引当金の増減額（は減少）	1,324
受取利息及び受取配当金	4,521
投資有価証券売却損益（は益）	8,691
支払利息	37,107
売上債権の増減額（は増加）	209,777
未成工事支出金の増減額（は増加）	332,177
その他のたな卸資産の増減額（は増加）	76,667
その他の資産の増減額（は増加）	37,341
仕入債務の増減額（は減少）	1,472,895
未成工事受入金の増減額（は減少）	419,485
その他の負債の増減額（は減少）	34,528
その他	3,030
小計	1,237,292
利息及び配当金の受取額	4,910
利息の支払額	36,004
法人税等の支払額	26,178
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,294,565</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	244,489
投資有価証券の取得による支出	24,877
投資有価証券の売却による収入	53,945
貸付けによる支出	1,200
貸付金の回収による収入	26,558
その他	400
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>190,464</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（は減少）	500,000
長期借入れによる収入	540,000
長期借入金の返済による支出	52,580
社債の発行による収入	800,000
社債の償還による支出	327,500
配当金の支払額	87,131
その他	6,929
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>365,858</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>625</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,118,545
現金及び現金同等物の期首残高	1,720,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 602,326



## 【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日至平成21年6月30日)
<p>1 連結の範囲に関する事項の変更 連結の範囲から除外された会社 1社 当第2四半期連結会計期間から、連結子会社(株)スパジオデュエの特別精算が終了しましたので連結の範囲から除いております。</p> <p>2 会計処理基準に関する事項の変更 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。 この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。</p>

## 【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日至平成21年6月30日)
<p>1 固定資産の減価償却費の算定方法 定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p> <p>2 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。</p>

## 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

該当事項はありません。

## 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日至平成21年6月30日)
<p>有形固定資産の耐用年数の変更 当社及び連結子会社1社は、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数について、平成20年法人税法の改正を契機として見直しを行い、従来採用していた10~12年の耐用年数を8~9年に変更しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は6,295千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ6,295千円減少しております。</p>

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
1 その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。	1 その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。
商品 88,041千円	材料貯蔵品 122,569千円
材料貯蔵品 111,195	
2 担保資産	2 担保資産
担保に供されている資産で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。	
建物 383,497千円	建物 110,739千円
土地 434,128	土地 179,216
3 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額 4,138,415千円	3 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額 4,151,387千円
4 その他(関係会社株式)に対する投資損失引当金 18,200千円を控除しております。	4 その他(関係会社株式)に対する投資損失引当金 18,200千円を控除しております。
5 受取手形割引高 87,541千円	5 受取手形割引高 221,231千円
	6 受取手形裏書譲渡高 397,355千円

## (四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料手当 168,553千円
賞与引当金繰入額 5,783
役員退職慰労引当金繰入額 15,162

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料手当 97,172千円
賞与引当金繰入額 21,116
役員退職慰労引当金繰入額 8,872

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金預金 992,326千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 390,000
現金及び現金同等物 602,326千円

## (株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	9,553,011

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	790,645

## 3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年3月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	87,673	10.00	平成20年12月31日	平成21年3月30日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## (リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動はありません。

## (有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

その他有価証券で時価のあるもの

区 分	取得原価 (千円)	第2四半期連結貸借 対照表計上額(千円)	差額 (千円)
株式	284,538	240,789	43,748
その他	33,022	30,481	2,541
合計	317,561	271,271	46,289

## (デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の当四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

## (ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額、営業利益の合計額に占める建設事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
716円23銭	714円22銭

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益	7円22銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	63,269
普通株式に係る四半期純利益(千円)	63,269
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(株)	8,764,757

## 第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益	12円10銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	106,063
普通株式に係る四半期純利益(千円)	106,063
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(株)	8,762,921

(重要な後発事象)

第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社は平成21年7月1日より確定給付型の適格退職年金制度及び退職一時金制度を改定し、確定給付企業年金及び退職一時金を統合した退職給付制度に変更しております。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月11日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 三井 智 宇 印

業務執行社員 公認会計士 渡 邊 考 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。